

## 卵巢悪性腫瘍に対する妊孕性温存治療後の生殖内分泌機能に関する検討

当院産婦人科では下記の研究を実施しています。

皆様のご協力をお願い申し上げます。

### 研究の対象

2000年1月1日から2016年12月31日の間に卵巢悪性腫瘍に対し妊孕性温存治療として手術療法・化学療法を施行した症例

### 研究の意義・目的

妊孕性温存治療として手術と科学療法を行った後の生殖内分泌機能（生理周期の変化、妊娠や赴任治療の有無について）を検討する

### 研究方法

診療録からの既存の情報及びアンケート調査で得た情報

#### ①診療録から使用する情報：

背景情報（年齢、合併症、婚姻／パートナーの有無、受診契機、紹介元）、治療時の妊娠分娩歴、月経歴、手術療法、診断名、化学療法の情報、治療後の月経歴、妊娠歴、不妊治療歴、ホルモン値

#### ②アンケート調査による情報：

治療後の月経歴、妊娠歴、不妊治療歴、病気や生殖活動への意識

- 本研究は本施設及び研究協力機関にて行うため、研究協力機関からの診療録情報を取得して行う。
- 本施設取得した情報は個人を特定できる情報を削除した上、研究用の番号（識別番号）を付けて取り扱う。
- 収集した情報等はパスワードを設定した電子ファイルでデータセンターである横浜市立大学付属病院産婦人科（データ管理責任者：祐森明日菜）に送付する。
- 個人と識別番号を結びつける対応表を作成し管理する。
- 対応表及びその他の資料は横浜市立大学病院付属病院のインターネットに接続できないパソコンで保存する。
- パソコン及びファイルは研究関係者以外がアクセスできないように管理保管する。

研究代表者：横浜市立大学病院付属病院産婦人科 祐森明日菜

研究責任者：横浜市立大学病院付属総合医療センター 婦人科 北川雅一

研究協力機関：横浜労災病院 産婦人科 中谷昌樹 他 10 施設

## 研究期間

2018年9月1日から5年間

## 連絡先

本研究に関してご質問等がございましたら、下記の連絡先までご連絡ください。

〒222-0036 横浜市港北区小机町 3211

横浜労災病院産婦人科 研究責任者 中山昌樹

電話番号 045-474-8111 (代表) FAX : 045-474-8323